

各位

上場会社名 ミライアル株式会社
 代表者 代表取締役社長 兵部 行遠
 (コード番号 4238)
 問合せ先責任者 専務取締役 脇 新市
 (TEL 03-3986-3782)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年3月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,200	1,390	1,530	930	91.90
今回修正予想(B)	6,020	1,210	1,370	690	68.19
増減額(B-A)	△180	△180	△160	△240	
増減率(%)	△2.9	△12.9	△10.5	△25.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年1月期第2四半期)	6,217	1,696	1,893	1,431	141.50

平成24年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,630	3,110	3,300	2,020	199.62
今回修正予想(B)	11,940	2,440	2,640	1,440	142.30
増減額(B-A)	△690	△670	△660	△580	
増減率(%)	△5.5	△21.5	△20.0	△28.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	11,939	2,911	3,179	2,191	216.58

平成24年1月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,080	1,390	1,470	890	87.95
今回修正予想(B)	5,070	1,210	1,310	750	74.12
増減額(B-A)	△10	△180	△160	△140	
増減率(%)	△0.2	△12.9	△10.9	△15.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年1月期第2四半期)	5,365	1,745	1,850	1,227	121.27

平成24年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,430	3,110	3,170	1,920	189.74
今回修正予想(B)	10,040	2,440	2,520	1,460	144.28
増減額(B-A)	△390	△670	△650	△460	
増減率(%)	△3.7	△21.5	△20.5	△24.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	10,184	3,022	3,141	1,974	195.14

修正の理由

第2四半期累計期間連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるプラスチック成形事業において、主要顧客に東日本大震災の影響があったものの、堅調に推移し、売上高は微減に止まる見込みとなりました。その結果、当初予想62億円から1億80百万円減少し、60億20百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、積極的な拡販施策とコスト削減に努めましたが、顧客のコスト削減要請と原材料

の高騰等の要因もあり減少する見込みであります。その結果、営業利益は、当初予想13億90百万円から1億80百万円減少し、12億10百万円となる見込みであり、経常利益は、当初予想15億30百万円から1億60百万円減少し、13億70百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、税金等調整前当期純利益の減少に加え、第1四半期連結会計期間に計上した当社連結子会社の法人税率変更による法人税等調整額の増1億4百万円、資産除去債務62百万円等の計上があり、その結果、当初予想9億30百万円から2億40百万円減少し、6億90百万円となる見込みであります。

通期連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるプラスチック成形事業において、足元は堅調に推移しているものの、秋口以降の半導体業界に先行不透明感があることから、売上高は当初予想126億30百万円から6億90百万円減少し、119億40百万円となる見込みといたしました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少、顧客のコスト削減要請、原材料価格の高騰等が予想されますが、品質での競争力を高めシェア拡大と更なるコスト削減に努め、利益率の回復を目指します。その結果、営業利益は、当初予想31億10百万円から6億70百万円減少し、24億40百万円となる見込みであり、経常利益は、当初予想33億円から6億60百万円減少し、26億40百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、税金等調整前当期純利益の減少に加え、第1四半期連結会計期間に計上した当社連結子会社の法人税率変更による法人税等調整額の増1億4百万円、資産除去債務62百万円等の計上があり、その結果、当初予想20億20百万円から5億80百万円減少し、14億40百万円となる見込みであります。

第2四半期累計期間個別業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益は、連結業績予想の修正と同様の理由で修正いたします。

当期純利益につきましては、税引前当期純利益の減少に加え、第1四半期会計期間における資産除去債務16百万円等の計上があり、その結果、当初予想8億90百万円から1億40百万円減少し、7億50百万円となる見込みであります。

通期個別業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益は、通期連結業績予想の修正と同様の理由で修正いたします。

当期純利益につきましては、税引前当期純利益の減少に加え、第1四半期会計期間における資産除去債務16百万円等の計上があり、その結果、当初予想19億20百万円から4億60百万円減少し、14億60百万円となる見込みであります。

(ご注意)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。

以 上